

講演会型(小学校)

学校名等	池田町立温知小学校
実施日時	令和2年10月29日(木)
会場	温知小学校 体育館
参加人数	5年生児童75名、保護者73名
学習課題(分野)	親子で情報モラル教育「スマホ・ケータイ安全教室」(社会のルール)
運営者の願い	親と子が一緒に話を聞き、ネットゲーム依存や SNS の危険性について知り、安全な活用ができるようにしてほしい。そして、情報機器使用についての約束作りに取り組むことで、家族で過ごす時間を大切に、仲間とよい人間関係の中で生活が送れるようにしてほしい。

学習の内容

<講演会>

- ① PTA 学年委員長挨拶
「情報や情報機器と正しく 安全につき合えるように親子で学びましょう。」
- ② 講師:KDDI スマホ・ケータイ安全教室担当者
- ③ ・個人情報載せることの危険性
・ネット上で知り合った人を安易に信用しない
・ゲーム依存 ・SNS での言葉によるいじめ
・使用のルールやマナーを守る
・困った時は自分や友達同士で解決しようとするのではなく、保護者に相談

<児童の振り返り>

- ・あまりゲームの時間を気にしていなくて、いつまでも使っていました。話を聞いた後で、家で話し合いをしました。弟ともルールを守ってやるように話し合いをしました。
- ・インターネットは、便利なところもあるけれども、個人情報が流出したりいじめられたりなどの怖いところもあるということが分かりました。相手の顔を見て話すことのできない LINE も言葉に気をつけてやりたいです。相手がいやな気持ちになるような言葉を書き込まず、安心安全にスマホを使っていきたいです。

<保護者の感想>

- ・SNS などの子どもの事件を見るたびに心が痛く、家でも話をしたりしていました。新しくゲームを購入したところだったので、家族全員でしっかりとルールを決めたいと思いました。
- ・インターネットはとても便利で利用する機会が増えました。しかし、その影では、トラブルが絶えないことが分かりました。子どもが小さいうちは、自己管理を親が見守り、徹底していくことが大切だと思いました。
- ・「ルールは一度破るとだめになる」この言葉が印象的でした。親子でしっかりルールを決めて確認し合いながら、うまく活用していきたいです。

<成果>

- ・講演会后、保護者、児童ともに振り返りや感想を書き、それを学年の通信に掲載して啓発を図ったことで、親子ともに意識を高めたり、継続させたりすることにつながった。
- ・講演会后、親子で話し合いをもうけた家庭が多くあり、「ひびきあい活動」につなげることができた。「ひびきあい活動」で改めて、ネットいじめの怖さ等について話し合い、相手を思いやる言葉の使い方について深く考える児童の姿があった。



座席の工夫

- ◎ 親子が隣に並んで座り講演会に臨んだ。途中で親子で感想を話し合う姿もあり、親子のコミュニケーションをとることができた。



必要不可欠な課題

- ◎ コロナ禍ではあったが、体育館で十分にスペースをとり講演会を行った。何より児童の実態、家庭での問題を考えると今、このテーマでの開催が必要だと感じた。親子で危険性をともに知ったことで、それぞれの家庭で直面する課題の解決に向けて一歩前進させることができた。



効果的な講座

- ◎ 映像も取り入れられており、児童にもとてもわかりやすい講演の内容だった。また、最近のニュースも取り上げられており、緊迫感が伝わった。

